

第 49 回上越市美術展覧会 第 1 回運営委員会

次 第

日時 令和元年 5 月 27 日 (月)
午後 2 時から
会場 上越文化会館 中会議室

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 自己紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 1
- 5 正副運営委員長の選出
- 6 議 題
 - (1) 第 49 回上越市美術展覧会について (案)
 - ア 内規の改正案について・・・・・・・・・・・・・・・・P. 2
 - イ 開催計画について・・・・・・・・・・・・・・・・P. 5
 - ウ 展示レイアウトについて・・・・・・・・・・・・・・・・P. 7
 - エ 応募要項について・・・・・・・・・・・・・・・・P. 9
 - オ 審査員の推薦と決定について・・・・・・・・P. 11
 - カ 作品鑑賞会の日程、講師について・・・・・・・・P. 14
 - (2) 第 50 回上越市美術展覧会について (案)
 - (3) その他
- 7 その他
- 8 閉 会

上越市美術展覧会運営委員名簿

【任期：令和元年5月27日～令和3年3月31日】

| 部 門 | No. | 氏 名 (敬称略) | 役職等 |
|-------------------------|-----|-----------|-------------|
| 日本画 部門 | 1 | 洞谷 亜里佐 | 上越教育大学 教授 |
| | 2 | 小林 充也 | 日展会友 |
| 洋画・版画 部門 | 3 | 筑波 進 | 日本美術家連盟会員 |
| | 4 | 五十嵐 正 | 市展無鑑査 |
| 彫刻・立体造形 部門 | 5 | 松尾 大介 | 上越教育大学 准教授 |
| 工芸・ グラフィックデザイン 部門 | 6 | 大藏 豊彦 | 日本工芸会正会員 |
| | 7 | 兪 期天 | 上越教育大学 助教 |
| 書道 部門 | 8 | 押木 秀樹 | 上越教育大学 教授 |
| | 9 | 山田 真一 | 久比岐野書道会 会長 |
| 写真 部門 | 10 | 藤野 正二 | 日本写真協会会員 |
| | 11 | 関 敏雄 | 市展無鑑査 |
| 学識経験者 | 12 | 木村 隆 | 新潟日報社 上越支社長 |

第 49 回上越市美術展覧会

第 1 回運営委員会 会 議 資 料

上越市美術展覧会内規 (案)

(会議)

第1条 運営委員会は、概ね年3回開催する。

(会場)

第2条 市展は、運営委員会で承認された会場で開催する。

2 無鑑査出品の展示については、同時開催とする。

(作品の受付)

第3条 下記規定以外の作品及び公募展入選作品は受付の対象としない。

- (1) 日本画 額縁付きで8号～50号以内とする。
- (2) 洋画・版画 洋画は、額縁付きで8号～50号以内とする。
版画は、A4判～A1判以内とする。
- (3) 彫刻・立体造形 底面積150cm×150cm以内、高さ200cm以内、重量100kg以内とする。
- (4) 工芸・グラフィックデザイン 工芸 壁面を使用する作品は、縦180cm×横140cm以内とする。
立体作品は、底面積150cm×150cm以内、高さ200cm以内、重量100kg以内とする。
グラフィックデザイン
A4判～B1判とする。
デジタル作品（静止画・プリントアウトしたもの）、手描き作品（コラージュも含む）、または併用も可とする。
額装またはパネル仕上げとする。
既成作品の複製は不可。
- (5) 書 道 縦作品は、縦182cm×横85cm、横作品は横167cm×縦76cm以内、いずれも額または、枠の仕上がり寸法とし、軸装は不可とする。
- (6) 写真 単写真は、プリントサイズで半切～全倍以内とし、額又は枠のサイズを73cm×103cm以内とする。
組写真は、枠内の写真の大きさは自由とし、額又は枠のサイズを73cm×103cm以内とする。組写真の額又は枠内の写真の大きさは自由とする。~~著しいデジタル加工と認められたものは不可とする。~~
- (7) 壁面に掲示する作品については、各部とも作品重量に耐えうるヒートン、紐が付いているもの。なお、ガラス額装は不可。
- (8) 展示時の安全・安定に不安がある作品については、上記各号の規定にかかわらず、出品は不可とする。
- (9) 出品点数は、各部門とも2点以内とする。

(無鑑査出品の依頼)

第4条 無鑑査出品は、運営委員会で次により推薦された人に対し依頼する。

- (1) 運営委員会が特に顕著と認めた作家とする。
- (2) 市展の同一部門において授与された賞を点数化し、10点以上の次に掲げる成績をおさめ、運営委員会が認定した人とする。なお、賞ごとの加算点数は次のとおりとする。
ア 市展賞の受賞1回につき4点を加算
イ 優秀賞の受賞1回につき2点を加算

ウ 奨励賞又は新潟日報美術振興賞の受賞1回につき1点を加算

- ~~ア 市展賞1回以上と優秀賞を合わせて3回以上、又は優秀賞4回以上を受賞~~
- ~~イ 市展賞（又は優秀賞2回）と奨励賞又は新潟日報美術振興賞4回以上を受賞~~
- ~~ウ 市展賞（又は優秀賞2回）と奨励賞又は新潟日報美術振興賞6回以上を受賞~~
- ~~エ 優秀賞1回と奨励賞又は新潟日報美術振興賞8回以上の受賞~~
- ~~オ 奨励賞又は新潟日報美術振興賞10回以上の受賞~~

2 前項の規定による無鑑査出品の依頼後2年にわたり出品がない場合は、運営委員会で協議し特別の事情がない限り、その後の出品依頼は行わない。

（無鑑査出品の制限等）

第5条 前条第1項の規定による無鑑査出品については、次の各号に掲げる規定によるものとする。

- (1) 日本画・洋画部門は50号以内とする。
- (2) 書道は、雅仙紙全紙の二分の一以内とする。
- (3) 上記以外の部門については、応募規定に準じて取り扱うものとする。

2 作品の搬入搬出については、原則として出品者の責任において行う。ただし、やむを得ない事態が生じた場合、別途協議する。

（招待出品及び委嘱出品）

第6条 審査員には、招待出品を依頼し、運営委員には、委嘱出品を依頼する。

2 運営委員の出品は、前条の規定に準ずるものとする。

（顧問）

第7条 市展に顧問を置くことができる。

2 顧問は、運営委員を通算5期（10年）以上経験した人のうち、運営委員会が推薦した人とする。

3 顧問の職務は、次に掲げるものとする。

- (1) 市展に関する助言、協力

附 則

この内規は、昭和62年4月1日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成5年5月18日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成7年7月31日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成8年6月4日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成9年8月7日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成13年4月1日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成15年4月16日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成 16 年 5 月 11 日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成 17 年 4 月 1 日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成 18 年 5 月 10 日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成 19 年 5 月 9 日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成 20 年 5 月 9 日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成 21 年 5 月 12 日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成 22 年 5 月 19 日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成 23 年 5 月 18 日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成 23 年 9 月 24 日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成 24 年 5 月 16 日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成 27 年 6 月 10 日から適用する。

附 則（改正）

この内規は、平成 28 年 6 月 1 日から適用する。

第49回上越市美術展覧会 会期と会場等について（案）

1 会期

令和元年10月6日（日）～10月14日（月・祝）

※ 会期中の10月8日（火）は高田公園オーレンプラザの休館日にあたるが、市展の会期中のため、ホールのみ開館するよう調整中。

2 会場

高田公園オーレンプラザ、ミュゼ雪小町

3 各部門展示会場

| 施設 | 部屋名 | 第49回展示部門 （案） | 第48回展示部門 |
|-----------------|----------------|--|---------------|
| 高田公園 オーレンプラザ | ホール | 日本画 洋画・版画 彫刻・立体造形 工芸・グラフィックデザイン | 洋画・版画 |
| | | | 写真 |
| | | | |
| ミュゼ雪小町 | ギャラリー A・B・C | 書道 写真 | 日本画 |
| | | | 書道 |
| | | | 工芸・グラフィックデザイン |
| | ロビー | | 彫刻・立体造形 |
| | 多目的室 | | |

4 作品審査

令和元年9月28日（土）

5 シャトルバスの運行について（案）

第48回市展 無料シャトルバス

| 運行実績 10月6日（土）～8日（月・祝） | | | |
|--------------------------|----------|------------------|----------|
| あすとぴあ 高田発 | 乗車 人数 | 高田公園 オーレンプラザ発 | 乗車 人数 |
| 9:00 | 1 | 9:30 | 0 |
| 10:00 | 0 | 10:30 | 3 |
| 11:00 | 3 | 11:30 | 2 |
| 12:00 | 1 | 13:00 | 11 |
| 13:30 | 5 | 14:00 | 3 |
| 14:30 | 4 | 15:00 | 3 |
| 15:30 | 2 | 16:00 | 1 |
| ※16:30 | 2 | ※17:00 | 1 |
| ※17:30 | 0 | ※18:00 | 0 |
| 18 | | 24 | |

※10月8日（月・祝）は運行していない

→ 第49回市展 無料シャトルバス（案）

| 無料シャトルバス運行表 （会期中の土・日・祝日のみ運行） | |
|---------------------------------|------------------|
| あすとぴあ高田発 | 高田公園 オーレンプラザ発 |
| | 10:30 |
| 11:00 | 11:30 |
| 12:00 | 13:00 |
| 13:30 | 14:00 |
| 14:30 | 15:00 |
| 15:30 | 16:00 |
| ※16:30 | ※17:00 |

①市展の会場時間前のため運行しない

②3日間の実績から乗車者がいないため運行しない

第 49 回上越市美術展覧会 開場式・表彰式 概要（案）

令和元年 10 月 6 日（日）

出席予定者：市展賞・優秀賞・奨励賞・日報美術振興賞の各受賞者、佳作認定者代表、市長(1)、教育長(1)、上越市議会議長(1)、文教経済常任委員会委員(7※議長除く)、教育委員(4)、社会教育委員(20)、上越美術協会会長(1)、高田文化協会会長(1)、上越市美術展覧会運営委員(12)
(招待者：来賓 34 人、入賞者：35 人)

9：30～ 表彰式

○会場：高田公園オーレンプラザ ホール前ロビー

- ・運営委員長あいさつ及び全体講評 運営委員長
- ・市展賞・優秀賞・奨励賞授与 ※会長から賞状、記念品を授与
※各部門別に、市展賞と優秀賞は全員へ、奨励賞は各部門の代表 1 人へ授与
- ・新潟日報美術振興賞授与 ※新潟日报社：支社長が賞状、盾を授与
※応募作品数が 20 点以上の各部門につき 1 人
- ・佳作認定証授与 ※副会長から認定証を授与
※全部門の佳作認定者の中から代表 1 人へ授与
(代表は最年少認定者へ依頼予定)

10:00～ 開場式

○会場：高田公園オーレンプラザ ホール前ロビー

- ・主催者あいさつ 市展会長（市長）
- ・テープカット（5 人） 市展会長（市長）
運営委員長
新潟日报社・上越支社 支社長
武藤市議会議長
入賞者代表 1 人（最年少入賞者へ依頼予定）

10：20～ 終了予定

オーレンプラザ

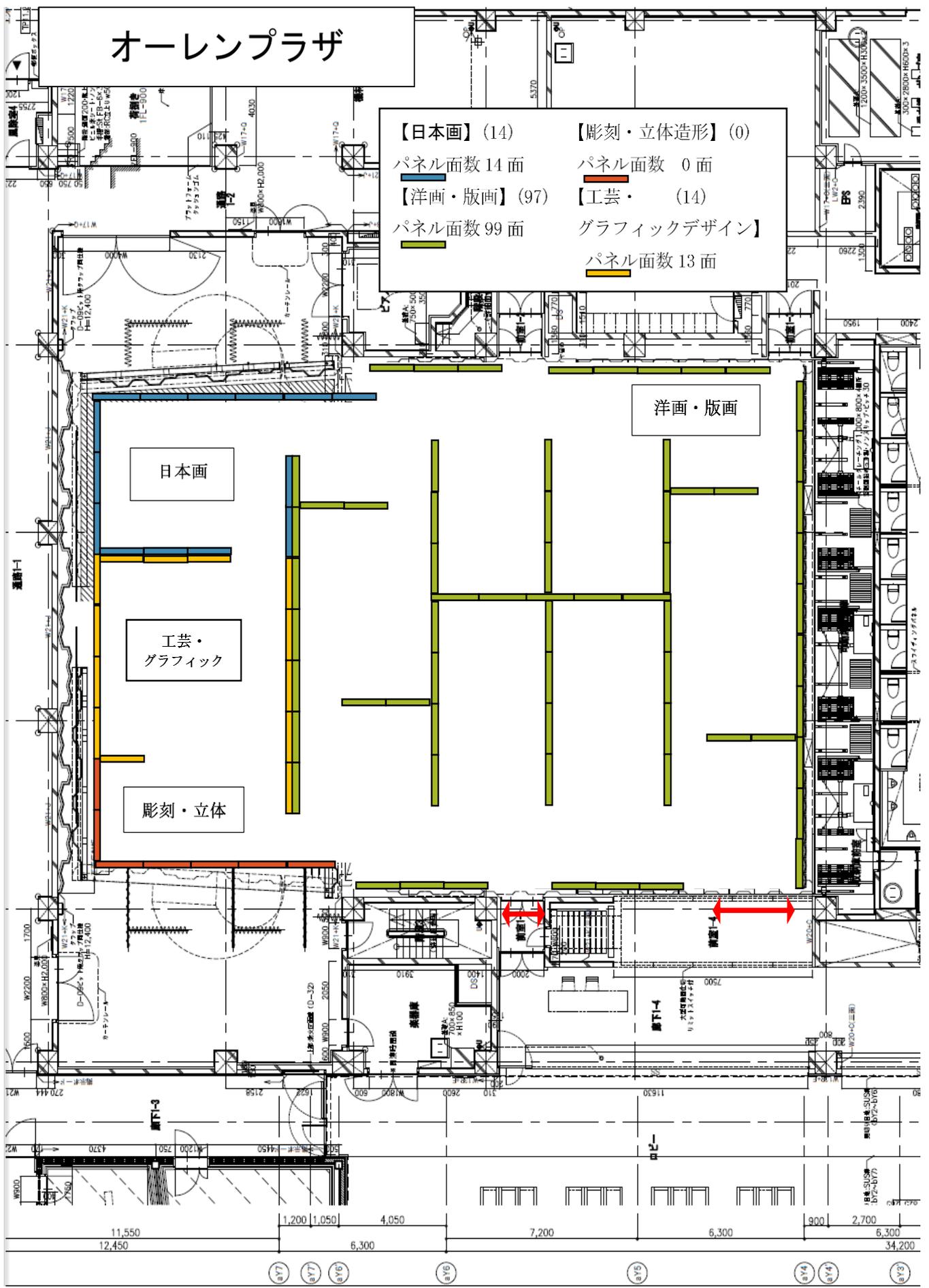
| | |
|--------------|---------------|
| 【日本画】 (14) | 【彫刻・立体造形】 (0) |
| パネル面数 14 面 | パネル面数 0 面 |
| 【洋画・版画】 (97) | 【工芸・ (14) |
| パネル面数 99 面 | グラフィックデザイン】 |
| | パネル面数 13 面 |

日本画

工芸・
グラフィック

彫刻・立体

洋画・版画



11,550

1,200

1,050

4,050

7,200

6,300

900

2,700

6,300

12,450

877

877'

876

876

876

874

874'

873

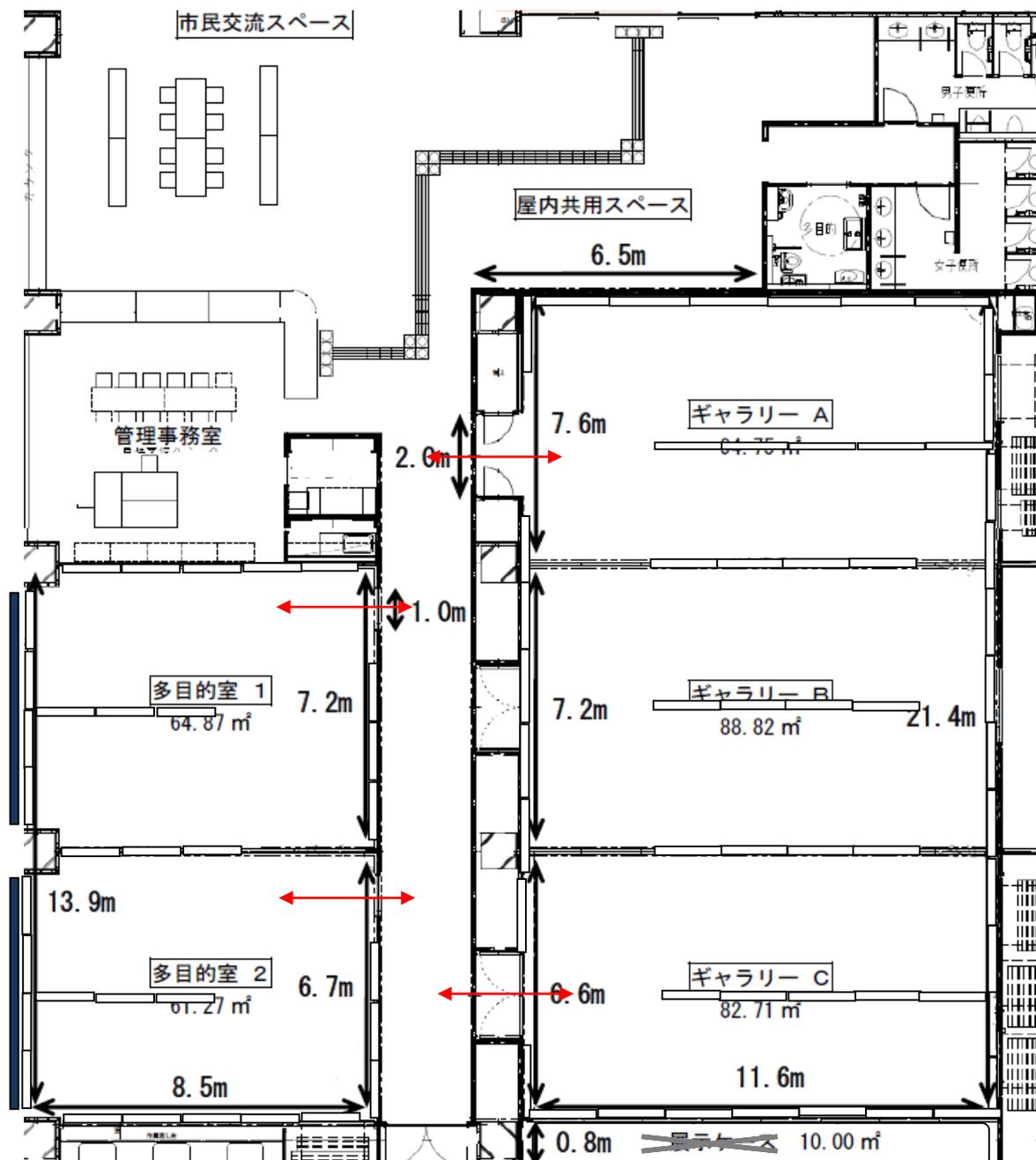
ミュゼ雪小町

写真 (54)

展示パネル 面

書道 (48)

展示パネル 面



42 面 (185cm×160cm パネル換算)

77 面 (可動式パネル換算)

第49回上越市美術展覧会 応募要項(案)

○主催 上越市
 ○会期 令和元年10月6日(日)～10月14日(月・祝)
 ○時間 午前10時～午後6時(最終日は午後4時まで)
 ○展示会場(案) 日本画部門、洋画・版画部門、彫刻・立体造形部門、工芸・グラフィックデザイン部門
 …高田公園オーレンプラザ
 書道部門、写真部門…ミュゼ雪小町(あすとぴあ高田5階)

○搬入・搬出

・10/6(日)
 →野球場で大会
 ・10/14(月・祝)
 ・10/15(火)
 →陸上競技場で大会

10/8(火)
 →オーレンプラザは休館日だが、市展ホールのみ会館予定

・作品受付、搬入

※時間はいずれも午前10時～午後7時まで(厳守)です。
 ※受付にて出品目録、審査結果通知のはがき、釈文(書道部門のみ)を提出してください。(出品票に書かれた内容で目録を作成します。)
 ※複写式の出品票も必要事項をご記入の上、提出してください。
 ※作品搬入時の駐車場については、別紙案内をご参照ください。

| 日付 | 部門(案) | 受付場所 |
|----------|-----------------|-----------------------|
| 9月25日(水) | 日本画部門 | 高田公園オーレンプラザ |
| | 洋画・版画部門 | |
| | 彫刻・立体造形部門 | |
| | 工芸・グラフィックデザイン部門 | |
| 9月26日(木) | 書道部門 | ミュゼ雪小町 (あすとぴあ高田5階) |
| | 写真部門 | |

・作品搬出

入賞作品及び入選作品、無鑑査作品は、10月14日(月・祝)午後4時から午後7時で、または10月15日(火)午前9時から午後5時までの間に各展示会場から搬出してください。
 選外作品は、10月6日(日)からの会期中、各展示会場で「預り証」と引き換えにお渡しします。(※初日は午後1時から)

○審査員

| | |
|---------------|----------------|
| 日本画 | ◆◆ ◆◆ (●●会員) |
| 洋画・版画 | ■ ■ (●●評論家) |
| 彫刻・立体造形 | □ □ (●●大学教授) |
| 工芸・グラフィックデザイン | ○ ○ (●●大学名誉教授) |
| 書道 | △ △ (●●大学名誉教授) |
| 写真 | ▼ ▼ (●●大学客員教授) |

○審査 出品作品の審査は9月28日(土)午後2時から各部門展示会場で行いますが、審査中は入場できません。
 審査結果は出品者に通知し、入選作品のみ展示します。入選証の交付はいたしません。
 審査及び展示について、出品者は異議を申し立てることができません。

- ・入賞 入選作品で優秀なものには市展賞、優秀賞、奨励賞、新潟日報美術振興賞を贈呈します。
- ・佳作 入賞作品(市展賞、優秀賞、奨励賞、新潟日報美術振興賞)以外の入選作品の中から、優れた作品を佳作として認定します。ただし、佳作は入賞歴に含まれません。
- ・講評 9月28日(土)審査終了後、審査員による作品講評会を午後3時30分から行います。参加される方は各部門展示会場までお越しください。なお、審査状況により早く講評を始めることもありますので予めご了承ください。

指導者の指導過多と認められる場合は、入選あるいは入賞を取り消すことがあります。

○出品手数料 各部門 1点 2,000円《2点で4,000円になります。》
 ※令和2年3月31日時点で18歳以下の人は、1点500円。

○出品規定
(各部門共通)

- ※基本的には市展のために新たに制作した作品が望ましい。(公募展で発表した作品は不可)
- ※各部門ともガラス額装は使用不可とします。(プラスチック及びアクリル額装は使用可)
- ※壁面に掲示する作品は、作品重量に耐えるヒートンと紐を必ず付けてください。
紐切れ等による破損の責任は負いません。
- ※展示時の安全性・安定性に不安がある作品は、下記の規定にかかわらず、不可とします。
- ※出品点数は、各部門とも1人2点までとします。

第1部 日本画 (彩色・水墨ほか)

- ・額縁付きで8号～50号以内とします。長尺物は、面積換算して先サイズ以内とします。

第2部 洋画 (油彩・水彩・パステルほか)・**版画** (木版・リトグラフ・セリグラフほか)

- ・洋画…額縁付きで8号～50号以内とします。 ・版画…A4判～A1判以内とします。

第3部 彫刻 (塑像・木彫・石彫ほか)・**立体造形** (オブジェ・インスタレーションなど立体による自由な作品)

- ・底面積は150cm×150cm以内、高さ200cm以内、重量100kg以内とします。
- ・出品目録に材質を必ず記入してください。

第4部 工芸 (金工・陶芸・染織・木竹紙工・人形・七宝・漆芸ほか)・**グラフィックデザイン** (手描き作品、デジタル作品)

【工芸】

- ・壁面を使用する作品は、縦180cm×横140cm以内とします。
- ・立体作品は、底面積は150cm×150cm以内、高さ200cm以内、重量100kg以内とします。
- ・工芸作品は、出品目録に材質を必ず記入してください。

【グラフィックデザイン】

- ・A4判～B1判とします。
- ・デジタル作品(静止画・プリントアウトしたもの)、手描き作品(コラージュも含む)、または併用も可とします。
- ・額装またはパネル仕上げとします。また、既成作品の複製は不可とします。

第5部 書道 (書・篆刻・刻字)

- ・縦作品は、縦182cm×横85cm以内、横作品は横167cm×縦76cm以内とします。
- ・作品寸法は、額装または枠の仕上がり寸法とします。(軸装は不可とします)
- ・釈文を作品とともに提出してください。

第6部 写真 (フィルム写真・デジタル写真)

- ・単写真は、プリントサイズで半切～全倍以内とし、額又は枠のサイズを73cm×103cm以内とします。
- ・組写真は、額又は枠のサイズを73cm×103cmとします。
- ・デジタル加工が著しいと認められたものは不可とします。

○出品作品
留意事項

- ・出品作品は十分に保護しますが、不慮の災害、事故または搬出指定時間を過ぎたものについては、その責任を負いません。
- ・著作権・肖像権や、盗作・類似作品などを含め問題が生じないよう留意ください。
- ・なお、上記に該当する場合は、作品の展示、審査結果を取り消す場合があります。
- ・当該事案に関する訴訟等には主催者は一切関知いたしません。
- ・入賞、入選作品の著作権は、市展開催中、事務局に帰属します。
- ・出品票等に記載された個人情報、上越市美術展覧会に関する業務以外には使用しません。
- ・なお、受賞者については、連絡先を報道機関に情報提供させていただきます。

○開場式・表彰式
○無鑑査推薦

- 開場式・表彰式については、別途ご案内いたします。
- 市展の同一部門において一定の成績をおさめた方を、無鑑査出品候補者として市展運営委員会に推薦します。

●問合せ●

上越市美術展覧会事務局 (上越市教育委員会 社会教育課)

〒942-8563 上越市下門前1770番地(上越市教育プラザ内) TEL025-545-9245

審査員の推薦と決定について

1 選出方法

- ・ 運営委員は担当部門ごとに審査員（1名）の推薦をお願いします。
- ・ 6月26日（水）までに別紙用紙（「第49回上越市美術展覧会審査員推薦書」）を事務局へご提出ください。
- ・ 各部門の運営委員と事務局で審査員を決定します。

2 審査日日程（予定）

令和元年9月28日（土）

○ 会場

- ・ 審査打ち合わせ…高田ターミナルホテル
- ・ 審査…各部門展示会場
- ・ 懇親会…宇喜世

○ スケジュール

| | |
|---|--|
| 北陸新幹線 上越妙高駅着 金沢→東京 東京→金沢 上野→金沢 | 10:24、11:58 11:25 11:37 |
| えちごトキめき鉄道 上越妙高駅発→高田駅着 | 10:57→11:03、11:12→11:18 11:37→11:43 |
| ホテル受付 | 12:00～ |
| 審査員昼食 | 12:00～12:40 事務局で手配、ホテルで昼食 ※第2回運営委員会 12:00～12:45 |
| 運営委員との打合せ | 12:50 |
| 作品審査 | 13:30 |
| 審査講評 | 15:00 |
| 講評原稿執筆 | 審査講評終了後 |
| 全体講評 | 17:30 |
| 懇親会 | 18:30 |

3 謝礼について

審査謝礼…90,000円（税込） ※後日、指定口座に振り込みます。
※源泉所得税控除対象外

4 交通費・宿泊費等について

- ・ 審査当日の宿泊費と往復の交通費（ご自宅の最寄駅～発着駅までの費用）は市の旅費規程に基づきお支払します。
※切符等の手配は各審査員をお願いします。
- ・ 宿泊場所については、「高田ターミナルホテル」を予定しています。
（住所：上越市仲町4丁目5-2 TEL：025-523-5428）

5 その他

9月28日（土）の夕食（懇親会）は事務局で用意いたします。
9月29日（日）の朝食は宿泊費に含まれています。

上越市美術展覧会 審査員一覧表

| | 48回 (H30) | 47回 (H29) | 46回 (H28) | 45回 (H27) | 44回 (H26) | 43回 (H25) | 42回 (H24) | 41回 (H23) | 40回 (H22) | 39回 (H21) |
|----------------|--------------------|----------------------------|----------------|-------------------------|---------------|-----------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------|
| 日本画 | 海老 洋 | 海老 洋 | 澤野 慎平 | 山下 保子 | 清水 由朗 | 清水 由朗 | 由里本 出 | 小西 通博 | 松村 公嗣 | 松村 公嗣 |
| | 創画会会員 東京藝術大学准教授 | 創画会会員 東京藝術大学准教授 | 日展会員 | 日展会員 | 日本美術院同人 | 日本美術院同人 | 日展評議員 | 創画会会員 | 日本美術院同人 | 日本美術院同人 |
| 洋画・版画 | 大倉 宏 | 司 修 | 藤嶋 俊會 | 司 修 | 木津 文哉 | 藤嶋 俊會 | 後藤 學 | 藤嶋 俊會 | 司 修 | 本田 希枝 |
| | 美術評論家 | 画家、小説家 法政大学名誉教授 | 美術評論家 | 画家、小説家、 法政大学名誉 教授 | 東京芸術大学 教授 | 美術評論家 | 喜多方市美術 館館長 | 美術評論家 | 法政大学名誉教授、 画家・音楽家 | 独立美術協会会員 |
| 彫刻・ 立体造形 | 原 透 | 原 透 | 中村 義孝 | 笠原 鉄明 | 宮崎 甲 | 宮崎 甲 | 峯田 敏郎 | 峯田 敏郎 | 小野 行男 | 雨宮 透 |
| | 国画会会員 日本美術家連盟委員 | 国画会会員 日本美術家連盟会員 | 筑波大学教授 | 国画会会員 | 千葉大学教授 | 千葉大学教授 | 国画会会員・上越教 育大学名誉教授 | 国画会会員・上越教 育大学名誉教授 | 東京造形大学教授 | 新製作協会会員 |
| 工 芸 | 山村 慎哉 | 山村 慎哉 | 松本ヒデオ | 松本ヒデオ | 金子 賢治 | 金子 賢治 | 唐澤 昌宏 | 唐澤 昌宏 | 板橋 廣美 | 板橋 廣美 |
| | 金沢美術工芸 大学教授 | 金沢美術工芸 大学教授 | 京都精華大学 名誉教授 | 京都精華大学 教授 | 茨城県陶芸 美術館長 | 茨城県陶芸美 術館館長 | 東京国立近代美 術館工芸課長 | 東京国立近代美 術館工芸課長 | 金沢美術工芸 大学教授 | 金沢美術工芸 大学教授 |
| グラフィック デザイン | | | | | 高木 基充 | 今尾 泰三 | 今尾 泰三 | 高木 基光 | 高木 基光 | 今尾 泰三 |
| | | | | | 大同大学教授 | 愛知県立芸術 大学准教授 | 愛知県立芸術 大学准教授 | 大同大学教授 | 大同大学教授 | 愛知県立芸術 大学准教授 |
| 書 道 | 加藤 東陽 | 蓮見 行廣 (雅号 光春) | 塚本 虚齋 | 高澤 浩一 | 法水 越仙 | 大村 竹逕 | 塚本 虚齋 | 原田 幹久 | 浦野 俊則 | 星 弘道 |
| | 東京学芸大学名誉教授 日展会友 | 東洋大学教授 | 和洋女子大学 名誉教授 | 二松学舎大学 教授 | 日展会友 | 新日本書法美 術院評議員 | 和洋女子大学 名誉教授 | 花園大学・佛 教大学講師 | 植草学園大学 教授・副学長 | 日展評議員 |
| 写 真 | 熊切 大輔 | 大西 みつぐ | 大西みつぐ | ハービー・山口 | ハービー・山口 | 熊切 圭介 | 熊切 圭介 | 沼田 早苗 | 沼田 早苗 | 木村 恵一 |
| | 日本写真家協会会員 | 日本写真協会会員 大阪芸術大学 客員教授 | 大阪芸術大学 客員教授 | 日本写真家 協会会員 | 日本写真家 協会会員 | 日本写真家協 会副会長 | 日本写真家協 会副会長 | 写真家、国連UNHCR協 会評議員 | 写真家、国連UNHCR協 会評議員 | 日本写真家協 会常務理事 |

作品鑑賞会について

1 講師

部門ごとに運営委員 1 名を選出ください。

2 謝礼について

解説謝礼・・・3,000 円

3 開催日

市展会期中の土日・祝日 (各部門 1 時間程度 1 回)

- ① 10 月 6 日 (日) 13:30~14:30、14:30~15:30
- ② 10 月 9 日 (水) 11:00~12:00、13:30~14:30、14:30~15:30
- ③ 10 月 12 日 (土) 11:00~12:00、13:30~14:30、14:30~15:30
- ④ 10 月 13 日 (日) 11:00~12:00、13:30~14:30、14:30~15:30
- ⑤ 10 月 14 日(月・祝) 11:00~12:00、13:30~14:30 (ミューゼ雪小町が会場の部門のみ)

4 その他

- ・ 講師としてご選出いただいた方は、別紙用紙(「作品鑑賞会の日程、講師について」)に、鑑賞会の希望日程(第 2 希望まで)をご記入ください。
- ・ 6 月 26 日(水)までに事務局へ用紙をご提出いただくか、電話連絡をお願いします。
(Fax 可: 025-545-9272)

上越市美術展覧会 50 周年記念企画について

1 第 50 回記念企画について(案)

- 50 周年記念賞の創設
- 50 周年記念展…審査員、運営委員の作品を展示
(参考) 第 39 回市展の「トキめき企画展」の際に審査員及び運営委員会から出品
 - 審査員出品部門 6 部門
(日本画、彫刻・立体造形、工芸、書道、写真、平面・CG)
 - 運営委員の全委員から出品
- 外部講師を招いての講演会

2 会場(案)

- 高田公園オーレンプラザ スタジオ
- ミュゼ雪小町